

会議結果通知

会議の名称	令和6年度第5回公共施設等総合管理計画庁内検討委員会		
開催日時	令和7年3月13日（木） 午前10時45分から午前11時15分		
開催場所	朝霞市役所 別館5階 501会議室・502会議室		
出席者及び欠席者の職・氏名	委員26名 機構順 【委員長】須田総務部長 【副委員長】金子総務部次長兼財政課長 櫻井市長公室次長兼政策企画課長、 小野澤副審議監兼危機管理室長、中谷財産管理課長、 金子地域づくり支援課課長補佐、増田資源リサイクル課長、 金子内間木支所長、山木福祉相談課長、 濱福祉部次長兼長寿はつらつ課長、高橋こども未来課長、 玄順こども・健康部次長兼保育課長、齊藤健康づくり課長、 村沢審議監兼都市建設部次長兼まちづくり推進課長、 塩味都市建設部次長兼開発建築課長、 奥田みどり公園課長、深澤道路整備課長、 久保田上下水道部次長兼水道施設課長、 長島下水道施設課長、関口学校教育部次長兼教育総務課長、 横瀬教育指導課長、長谷学校給食課長、 小笠原生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長、 藤原文化財課長、堀川生涯学習部参事兼中央公民館長、 増田図書館長 事務局3名 長谷川財産管理課主幹兼課長補佐、牧原主任、袴田営繕係主査		
議題	1 公共施設等マネジメント実施計画（第2期）素案の報告 2 公共施設等マネジメント実施計画（第2期）計画策定スケジュール		
公開・非公開	非公開	傍聴者の数	—
【審議概要】 〈議題 公共施設等マネジメント実施計画（第2期）素案の報告〉 （事務局から説明（要旨）） これまでの議論をもとに第2期計画素案としてまとめました。 資料1で第2期策定のポイントを説明し、資料2の素案では要点を絞って			

説明させていただきます。

なお、今回配布させていただいた資料内容が多いため、本日、説明をさせていただき、３月２４日（月）で区切ってみなさまから意見をいただきたいと思っています。

資料 1

第２期策定のポイントとして大きく３つ挙げさせていただきます。

○第１期の骨格は踏襲

第２期策定に着手した時期が、第１期から２年とそれほど経過していないため、第１期の骨格は踏襲しつつ、本旨となる優先順位については、直近の施設健全度、重要度を評価し、見直しています。

○前提と結論を巻頭に。

計画の前提、そして結論を初めの７ページにまとめています。以降のページで計画の根拠や考え方、資料を掲載しており、市が何を伝えたいか、聞き手が全体像を想像しやすい構成としました。

○公共施設等マネジメント実施計画は分野別個別施設計画を内包しない。

総合管理計画が市の施設の共通の方策を定めており、本計画が学校やインフラ系などの個別施設計画について制約するものではないため、実情に併せて、同じ並列関係に見直しました。

資料 2

〈資料 2 目次ページ〉

目次について説明します。第２期からは計画編と資料編に分けて２部構成としました。

計画編の１、２章で前提、結論を記載し、３章以降で長寿命化の考え方、延床、維持管理費縮減の方策など記載しています。

資料編からは、市の人口等の統計情報や市民アンケートなどを記載しています。なお、ここでの市民アンケートは、第１期策定から期間があまり経過していないため、第１期のものを掲載しています。

〈資料 2 ２ページ〉

公共施設等マネジメント実施計画は分野別個別施設計画を内包しないという考えのもと、体系図を変更しています。具体的に述べますと、これまで本計画の傘の下に各個別施設計画がありましたが、実情に合わせて公共施設等マネジメント実施計画も各個別施設と並列関係になるように構成を変更しています。

〈資料 2 5 ページ〉

第 1 期の骨格は変更しないこと、また、第 1 期の反省点を踏まえ第 2 期計画の基本方針として大きく 3 つ定め、その方針をもとに今回の計画が策定されていることを示しています。

〈資料 2 6 ページ〉

その方針に基づき、第 2 期計画の対象施設は表に示した 20 施設となります。なお、大規模改修、長寿命化改修では工事の内訳が違ってきます。また、着手から完了に至るまでに期間も変わってくるので表の下で図示しています。

〈資料 2 7 ページ〉

延床面積縮減・第 2 期計画期間中に第 2 期計画の対象施設ではないが、耐用年数を迎える施設への対応について施設を列挙するとともに、劣化調査の具体例を掲載しました。

〈資料 2 19 ページ〉

長寿命化における優先度の考え方について記載しています。施設健全度と施設重要度をクロス集計し、分類化することで、施設の優先順位を評価しています。これはこの計画の根幹となる考え方であるので改めて、説明させていただきます。

〈資料 2 34 ページ〉

公共施設等総合管理計画の記載も踏まえ、財政状況に見合ったコスト構造を実現するため延床面積を 14% 減らすことについて記載しています。

また、このままの改修サイクルでは本来の改修時期に対して、改修等ができない施設が増えていく状況となることが想定され、施設の安全の確保、適切なサービス提供の観点から延床面積の縮減について検討を進める必要があり、施設の複合化、施設の転用について、更新や長寿命化に合わせた延床面積縮減など手法についても記載しています。

〈資料 2 42 ページ〉

ここから資料編として、現計画では巻頭にあった、市の状況等はバックデータとして後ろに移しました。

〈資料 2 79 ページ〉

市民意識アンケート（第 1 期のアンケートを再活用）についても資料編の一部として掲載しております。

資料 3

次に、資料 3 について説明します。本計画の策定期間を令和 7 年度に変更したことに伴い、最新の施設点検、施設カルテを用いて再評価しました。

資料の見方としては、左側が最新の優先順位、右側が前回の優先順位となっています。その中で緑色で示されている施設が順位の変動により前回の順位から今回の対象施設数である 20 位以内にランクインしたもの、逆にオレンジ色で示されているのは前回 20 位以内にあったがランク外となった施設です。

弁財市民センター以外は前回も最新版もグループ 5 であり、そのなかで施設、設備の簡易的な修繕、また、その逆である経年劣化等により、相対的な評価変動があったため順位が前後しています。

弁財市民センターがグループ 5 にランクインしたのは施設の重要度の指標が上がり加点されたためである。特に施設の部屋の利用率が大幅に増加したため、重要度が上がり、グループ 4 に入ったと言えます。

この比較表でいえることとしては前回の評価グループ 4 以内に入っていた 14 施設は今回も対象に入っており、グループ内での順位の変動はあったものの、1 年間では前回評価と変わらなかったと言えます。

なお、優先順位の高い施設から着手することが原則的になりますが、第2期では中間の5年目で見直すことを前提としていること、財政状況、国の補助金等の活用など外部要因によっては、この順位にかかわらず着手する場合もあります。

〈議題 公共施設等マネジメント実施計画（第2期）計画策定スケジュール〉
（事務局から説明（要旨））

資料4

前回の会議で市民コメント実施前に全員協議会を実施するのが通例となっているという意見をいただいたため、改めてスケジュールを再編成しました。

まず、3月24日までに各委員から意見をいただき、意見反映をしたのち、5月の政策調整会議に諮る予定です。その後、全員協議会を実施し、6月から7月にかけて市民コメントを1ヶ月実施予定としています。

市民コメントの御意見を反映したのち、再度政策調整会議、庁議に諮り8月に計画策定予定です。

※質疑応答は今回はなし

以上

問合せ先 （事務局）	朝霞市 総務部財産管理課財産管理係 担当者 山崎・牧原 電話番号 048－463－0203 （内線：2332） eメール zaisan_kanri@city.asaka.lg.jp
---------------	--